

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月14日

計画の名称	厚木市における未普及地区の汚水処理整備												
計画の期間	平成29年度～平成31年度(3年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	厚木市												
計画の目標	未普及地域を解消することにより、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図り、良好な生活環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	26	A	26	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成28年度当初	平成30年度末	平成31年度末
1	未普及地区における汚水処理整備計画(アクションプラン)の策定を100%(H29末)にする。 未普及地区の汚水処理整備計画(アクションプラン)の策定率 策定された計画数/汚水処理整備計画策定数	0%	100%	100%
2	未普及地区における污水管渠処理整備に伴う実施設計の策定を100%(H31末)にする。 未普及地区の污水管渠整備の実実施設計の策定率 策定された計画数/污水管渠整備実施設計策定数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
令和12年度(平成32年度)について、非重点から重点に移行するため、成果指標については事後評価等を重点計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（ 污水）	—	効率的汚水処理整備計画 策定	アクションプランの策定	厚木市	■					10		—	
	A07-002	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（ 污水）	新設	市内污水管渠整備事業(未 普及対策)	污水管渠整備に伴う実施設計 の策定	厚木市			■			16		未策定	
												小計						26		
												合計						26		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

厚木市下水道運営審議会において実施

事後評価の実施時期

事業終了後

公表の方法

厚木市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

第10（柵沢）処理分区及び第15（依知第2）処理分区の未普及地区において実施設計を実施したことにより、工事実施に向けた調整や協議を行うことができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

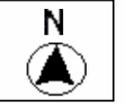
平成29年度に策定したアクションプランに基づき、未普及地区の汚水整備を推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	未普及地区における汚水処理整備計画（アクションプラン）の策定率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	未普及地区における汚水管渠処理整備に伴う実施設計の策定率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

# 社会資本総合整備計画(平成29年度～平成31年度) 整備位置図

計画の名称  
厚木市における未普及地区の汚水処理整備

計画の期間  
平成29年度～平成31年度(3年間)



A007-02  
市内污水管渠整備事業(未普及対策)  
厚木市 三田 地内

A007-02  
市内污水管渠整備事業(未普及対策)  
厚木市 金田・下依知 地内

A07-001  
効率的汚水処理整備計画策定  
厚木市 全域 地内

縮尺 1 : 50000



社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月14日

計画の名称	厚木市における未普及地区の汚水処理整備(重点計画)												
計画の期間	令和02年度～令和02年度(1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	厚木市												
計画の目標	未普及地域を解消することにより、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図り、良好な生活環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	12	A	12	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度当初		令和2年度末
1	未普及地区における污水管渠処理整備に伴う実施設計の策定を100%(R2末)にする。 未普及地区の污水管渠整備の実施設計の策定率 策定された計画数/污水管渠整備実施設計策定数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
令和2年度(平成32年)について、非重点から重点に移行するため、成果指標については事後評価等を重点と一体的に実施する。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠（ 污水）	新設	市内污水管渠整備事業(未 普及対策)	污水管渠整備に伴う実施設計 の策定	厚木市	■					12		未策定
											小計						12		
											合計						12		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

厚木市下水道運営審議会において実施。

事後評価の実施時期

事業終了後

公表の方法

厚木市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

第19（玉川）処理分区の未普及地区において、実施設計と土質調査を実施したことにより、工事実施に向けた調整や協議を行うことができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

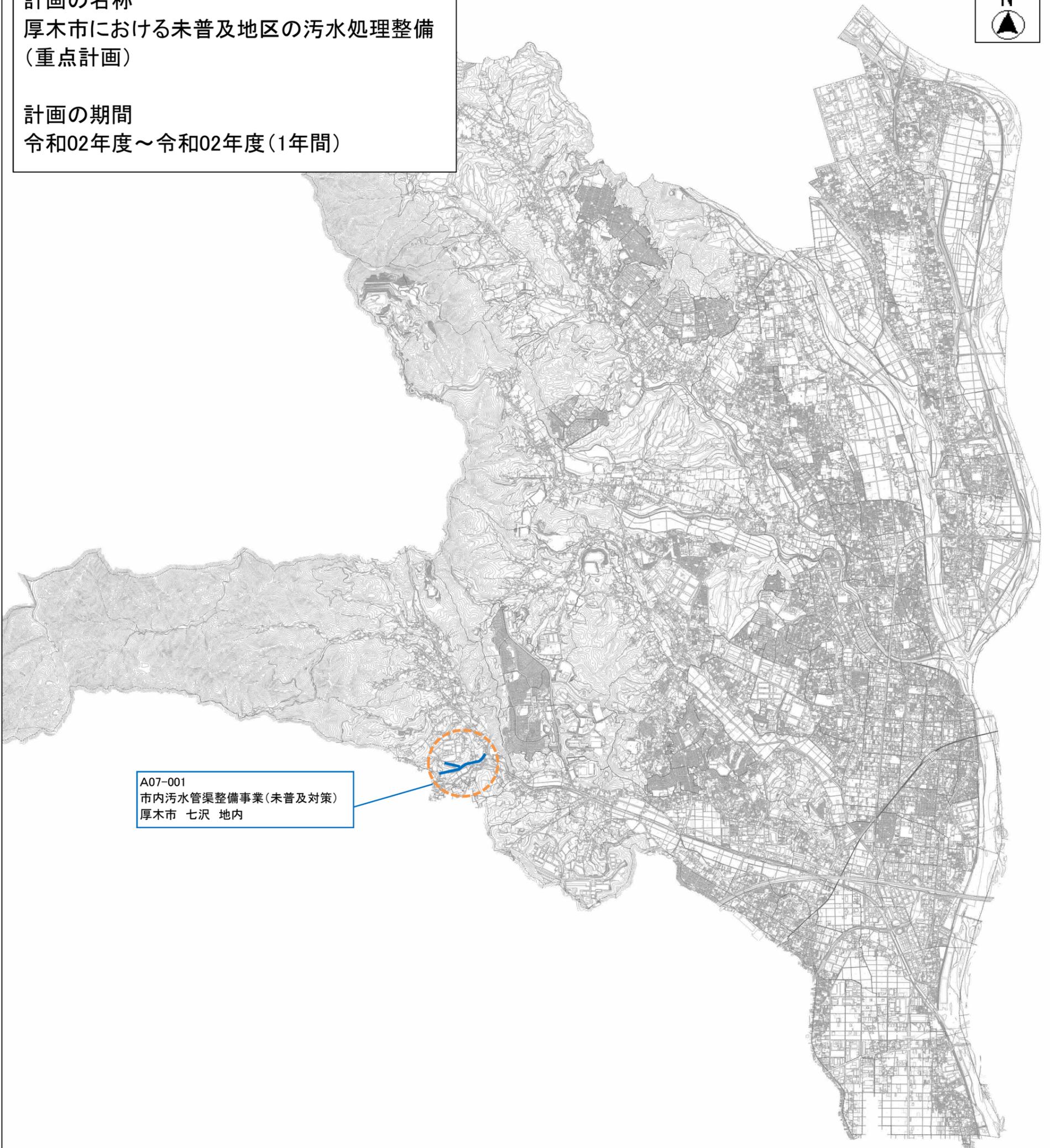
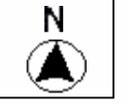
平成29年度に策定したアクションプランに基づき、未普及地区の汚水整備を推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	未普及地区の污水管渠整備の実施設計の策定率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

# 社会資本総合整備計画(令和2年度) 整備位置図

計画の名称  
厚木市における未普及地区の汚水処理整備  
(重点計画)

計画の期間  
令和02年度～令和02年度(1年間)



A07-001  
市内污水管渠整備事業(未普及対策)  
厚木市 七沢 地内

縮尺 1 : 50000

